

環。未ネットだより

しまもと環境・未来ネット(島本町環境基本計画推進活動) HP<http://www.kankyo-mirai.net/> <FB .facebook.com/kankyo.mirai.net/> 「環・未ネットだより」vol.6 2018 年 9 月号

発行: しまもと環境・未来ネット

代表:金山」勉

連絡先:島本町役場環境課内

Tel:075-962-2863 Fax:075-961-6298

「COOL CHOICE 賢い選択」

2030年度の温室効果ガスの排出量を2013年度比で26%削減するという目標を掲げ、その達成に向けて政府だけで

なく、事業者や国民が一致団結して「COOL CHOICE」 を旗印に国民運動を展開すると発表してい

ます。島本町でもこの運動に呼応して、

はまもと環境・未来ネットでも参加してほしいと、チョコット呼びかけがありました。島本町の運動に協力する事業者の富士ゼロックス大阪の担当者と代表・副代表が過日ミーティングして、町内で行う「COOL CHOICE」への協力内容をとりきめました。すでにそのメニューの一部は始動していて、8月から始まったセミナーの支援、川美化グループや環境学習グループのメンバーが携わっています。

「COOL CHOICE セミナー」

第1回 平成30年8月24日(金)10:00~工作教室の進め方 第2回 平成30年8月28日(火)10:00~バリ協定と世界の動き 第3回 平成30年9月4日(火)10:00~家庭での省エネの進め方

その他

- ○「ハンドブックの製作」(環・未ネットの部会の活動関連で 地球温暖化防止に通じる内容を執筆)
- ○「環境未来名刺」作成支援等(文化祭で)
- ○「クイズラリー支援」
- ○「エコドライブ」
- ○「COOL CHOICE 普及啓発 ポロシャツ」

eco FadalIDh-

気候変動キャンペーン公式 WEB サイト http://funtoshare.env.go.jp/coolchoice/



の賛同するバナー をクリックすると 賛同証明証が発行 キャラクターが使 用出来ます。



しまもと環境・未来ネットの今までのとりくみ

エコ生活部会では、「昨年、食品ロスの現状を学びゴミを削減するフードバンクの取り組みを学びました。 (緑のカーテンプロジェクト)では、ゴーヤーやつる苗を町のイベントで配布し、実った実はエコクッキングで、余すところ無く食す方法を学び楽しみました。 恒例となったエコクッキングでは、地元の食材を使う地産地消の取り組みからエコを学びました。

今年の夏の高温や豪雨から異常気象を感じられた方 も多いと思います。環境問題に無関心ではおられま せん。このまま何もしなければ温室効果ガスは

増え続け温暖化は進んでいくでしょう。

自分たちが出来ること考えるためにクール チョイスは大切な指針を教えてくれるも のだと思います。」 矢田部佳子記

> エアコン 快適なのに節約できる! 2006年 23,814円 1,782円

<編集者のツブヤキ>

今夏の酷暑は辛かったです。緑のカーテンやウチワがあっても、24時間エアコン無しでは過ごせませんでした。太陽光パネルが活躍しました。暑かった分晴天が多くて発電量が伸びました。8月の発電量は818Kw/h、7月は、777Kw/hで売電価格が約2万強で昨年は日照の違いで1万9千円ほどでした。

環境学習部会では、次の講演会を開催しました。 「地球温暖化と局地的な大雨」

講師: 楠田雅紀さん (大阪管区気象台・地球温暖化情報官)

日程:8月10日(金) 14時~

「北極圏から見た地球温暖化」 講師:山崎哲秀 さん (探検家) 日時:6月30日(土)、14時~

COOL CHOICE に関わる、再生可能エネルギーをテーマにした講演会も開催しました。

・「電気の地産地消をもとめて」 エコ生活部会 + 環境学習部会

第一回目)・持続可能なエネルギーの選択

講師:高橋智子さん(コープこうべ 地域活動推進部) 2016年9月11日(日)13:30~15:00

第二回目)・島本で電気をつくれるか?

1. 市民による手作り市民太陽光発電所の事例に学ぶ 講師:中川慶子さん

(NPO 法人新エネルギーをすすめる宝塚の会代表理事) 2. 島本のバイオマス資源 (竹林・山林)の活用は可能か? 講師:島田勇巳さん(高槻バイオマス粉炭研究所所長)

2016年9月25日(日)13:30~16:00

上記の、バイオマス発電に関して最近の進展をお聞きしたところ炭化力発電システムに関しては数箇所への設置プロジェクトが進行中です。また、製炭炉が設置出来ないケースのために地域にある竹の破砕材やチップを直接燃焼させ循環させるタールのでない温水ボイラーを開発したメーカーと連携新しい発電システムを共同提案しています。



兵庫県森林動物研究センター訪問記 環境学習部会

8月26日、11月開催予定の「イノシシ」に関する講座講師をお願いしている兵庫県立大学自然・環境科学研究所教授の横山真弓先生を、環境学習部会員4名で訪問しました。 先生は兵庫県森林動物研究センター研究部長を併任されておられ、先生に事前打ち合わせのご都合をお聞き

したところ、同センターの施設一般公開日に当たるこの日に来たらどうかと、お誘いを受けたからです。

センターの場所は丹波市青垣町、北近畿自動車道「青垣 I C」の近くで、のどかな田園風景が広がる山裾にあります。島本町からは高速道路を使って車で2時間弱、公開開始時間の10時

半に到着しました。 既に親子連れ等多数の お客さんが来ていまし た。

受付を済ませて入口 正面、野生動物剥製 展示ホール付近を見学

した後、約束の11時から横山先生と打ち合わせをしました。

打ち合わせを済ませた後、少し早い昼食を摂りました。勿論ジビエ料理、「鹿肉の有効活用」コーナーで照り焼きハンバーガーにワイン煮込みシチューを添えていただきました。脂のない赤身で気にするほどの臭いもなく、美味しくいた

だきました。

食事の後は施設内 研究室や会議室等 を利用した色々な コーナーを巡り、 研究員の方の説明



を聞きました。横山先生は乾燥標本収蔵室で骨格 標本の説明をされていました。また屋外では太



陽光発電利用のカメラで遠隔操作できる捕獲用の大型オリや、各種 侵入防止柵の展示もありました。

一同興味深く見学させていただき、 有意義な一日を過ごすことが出来 ました。

1 1月 1 1日 (日) の本番が増々 楽しみになりました。タイトルは 「イノシシの巧みな生活ぶりを踏ま えた被害対策」です。 中務浩記



(センサー+スマホ+太陽光発電+カメラ)電子捕獲オリ 株式会社アイエスイが展示している、



システム図



この捕獲オリは遠隔操作で捕獲のタイミングがとれます ので、群れでオリに入るまで待ってゲートを閉めること が出来る、またはクマだと閉めない。(大阪府の場合)

しまもと環境・未来ネットでは会員を募集しています

ご一緒に活動しませんか!!

お申し込みは、環・未ネット HPフォームか 役場環境課まで